

【様式1】 CAN-DO LIST 2024

学校名:	鹿児島工業	高等学校	大学科:	工業
科目名:	論理・表現Ⅱ		学年	3年

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価 時期・方法	学期	CS
Speaking Interaction	SI1 ☐	日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合ったり、立場や状況が異なる相手と交渉したりすることができるようにする。	Unit 1 Lesson 1,2,5,6, 9 Unit2 Lesson 3	定期考査, PT	1,2	ア
	SI2 ☐	日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張、問題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。	Unit1 Lesson 10 Unit2 Lesson 1,2	定期考査, PT	2	イ
Speaking Presentation	SP1 ☐	日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。	Unit 1 Lesson 3,7,11 Unit2 Lesson 4	定期考査, PT	1,2	ア
	SP2 ☐	日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。	Unit2 Lesson 5	定期考査	2	イ
Writing	W1 ☐	日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。	Unit1 Lesson 4,8,12 Unit2 Lesson 6,7	定期考査, エッセイライ ティング	1,2,3	ア
	W2 ☐	日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。	Unit2 Lesson 8	定期考査 エッセイライ ティング	3	イ

※右のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。